

しゅうらくかつどう

集落活動センターあわ

～住みたい安和！ 住み続けたい安和！～



特産品の日本はちみつ



休耕田への菜の花の種蒔作業

経緯

- 少子高齢化による耕作放棄地の拡大、獣害による耕作意欲の減退、商業施設の撤退、小学校・保育園の廃止案の提示等、このまま座視すれば加速度的に地区の衰退が進むことが懸念された。
- この動きを少しでも食い止めるため、地区の有志による集落活動センターを立ち上げた。

取組内容

- 空き家所有者への確認・連絡等を行い、地元NPOと協力し、移住・定住者を確保。
- 放課後子ども教室の開催による子育て世代への応援。
- ニホンミツバチの養蜂を行い、はちみつの販売やはちみつを原料としたリキュールの開発及び販売。
- 休耕田を活用し、季節の花(菜の花、レンゲ、ヒマワリ等)を植え景観保全・観光振興。

活動の効果

- 平成30年度から移住者の確保に努め、令和3年度までに16名が移住し定住している。
- 子育て世代への応援を行うとともに、小学校の特認校指定を受け、校区外からの通学を可能とし児童数を確保した。
- ふるさと納税の返礼品に、地元で生産した農産物等を利用することにより、地域の零細・小規模農家の所得向上に寄与している。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後も観光交流や地元の人たちとの親睦を深め、交流人口の拡大、ひいては安和地区への応援団、移住・定住につながることを願っています。